



平成 27 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
 代表者の役職名 代表取締役社長 安 成 政 文
 (JASDAQ・コード番号8747)
 問い合わせ先 常務取締役管理本部長 多々良 孝之
 電 話 番 号 (0 3) 3 6 6 7 - 5 2 1 1

平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
前 年 同 期 実 績 (平成 26 年 3 月期第 3 四半期累計) (A)	3,235	△88	△26	△61
当第 3 四半期連結累計期間実績見込み (平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計) (B)	3,549	351	364	312
増 減 額 (B - A)	313	439	390	374
増 減 率 (%)	9.7	—	—	—
(参考) 平成 26 年 3 月期実績	4,237	△95	△39	△255

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

当第 3 四半期連結累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）においては、17 年振りに実施された消費税率引き上げによる影響は見受けられるものの、量的・質的金融緩和の導入により、消費動向に大きな影響はなく、景気は穏やかな回復基調となりました。一方、世界経済は、米国での市場予測を上回る良好な経済指標や根強い米利上げ観測などが影響し、米国を中心とした景気回復が続いているものの、中国の経済成長の減速や、中東における地政学的リスク等により、先行きは不透明な状況が続いておりますが、商品先物取引(現金決済先物取引を除く)の総売買高は 720,921 枚(前年同期比 19.9%増)及び金融商品取引等(取引所為替証拠金取引等を除く)の総売買高は 1,228,623 枚(前年同期比 19.8%増)となり、受取手数料は 3,231 百万円(前年同期比 12.5%増)、売買損益は 283 百万円の利益(前年同期比 13.8%減)となる見込みであり、営業収益は 3,549 百万円(前年同期比 9.7%増)、経常利益 364 百万円(前年同期は 26 百万円の経常損失)、四半期純利益 312 百万円(前年同期は 61 百万円の四半期純損失)を計上する見込みであります。

以 上